



## 小池新党大勝、自民大敗、公明健在、民進党壊滅

菅官房長官の反対を押し切って解散に踏み切った安倍総理の直感は墓穴を掘るだろう。

安倍首相本来の大敵は、潜在的破綻政党民進党やその他泡沫政党ではなく小池百合子だ。

民進党が、外人蓮舫(血は法ほどにモノを言う)を代表にした後、統率力ゼロの前原を代表に選ぶなど崩壊に向かう一方、宿敵小池はまだ国政進出への準備が出来ていないと見て、その「隙」を狙ったのが今回の「理由なき解散宣言」。

小池といえども「人気というものは時間とともに消え失せるもの」。

安倍一強が色褪せたのはスキャンダルだけではない。

民進党は放っておいても消滅するし、小池人気といえどもオリンピックまで持たない。

北朝鮮の核・ミサイル脅威を「国難」とすることで挙国強力内閣を求めての解散理由は立派だったが、議員数が減ることを覚悟の上で「何とか過半数を確保したい」などと言うようでは国難云々も消費税の使い道同様「こじ付け」になってしまった。

人気に関して言えば、まだ失せていないのが小池、急速に落ち始めてきたのが安倍、人気ゼロの奈落に向かっているのが前原。

小池以外の者が勝負に出ても小池には勝てないのが人気力学。

民進党が弱り目に祟り目で、小池新党にまだ準備が出来ていないタイミングで解散すれば失う議員数を最低限に押さえられると言うのが安倍の「直観」。

民進党を離党した大物の松原仁の言ではないが、政治家は政策云々の前に先ず「勝たねばならない」のなら、野党議員は「松原仁に従うしかない」のでは。

野党連合で自民と1対1など空論に過ぎない。

「都民ファーストはどうした？」と非難されるだろうが、もし小池が「国民ファースト」を掲げて「緑のスクーフ」で全国行脚をやったら日本の政治がひっくり返るかも知れない。

確かなことは「最大野党の民進党が壊滅状態になる」と泡沫野党が整理されること。

確かではないが、もし小泉進二郎(自民副幹事長)が親父と仲が良い小池の下に走り、「自民党をぶっ壊す」と言ったら自民党はぶっ壊れる。

これでやっと日本の政治も面白くなってきた。

### 本日より発送開始！

#### 増田俊男の小冊子 Vol.92 『歴史の終わりと始まりー中期(3年間)保存版』

現在、増田俊男の小冊子 Vol. 92 『歴史の終わりと始まり - 中期 (3年間) 保存版』を好評発売中です。\*民主主義は後退するか\*「脅威バブルの宿命」を支える北朝鮮\*金融バブル崩壊最後の正念場\*「ドルは仮想通貨」! 全米に広がる金本位制\*Golden Era(黄金時代)を先取りする等の内容です。お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (Tel : 03-3956-8888、HP : [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com)) まで。